

次号予告

特集 レジリエンスへの潮流

Safety-IからSafety-IIへ—レジリエンス工学入門—... Erik Hollnagel (University of Southern Denmark)
東日本大震災を経験した中でのレジリエンスとは? 今村文彦 (東北大学 災害科学国際研究所)
レジリエンスのタクソノミと共通戦略 丸山 宏・Roberto Legaspi・南 和宏 (統計数理研究所)
重要インフラの災害対策に関する調査—大規模災害時における鉄道のレジリエンスを向上させるために—
..... 武内陽子・渡辺健治・羽山和紀・布川 修・福村直登・早勢祥子 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)
地震発生時の復旧シミュレーション最適化
..... 倉都翔平 (東京ガス(株)), 新田利博 ((株)NTTデータ数理システム)

メンバーリストに登録しよう

本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。OR学会の活動に特に関心のある方ならば、誰でも登録できます。登録方法については、<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●この編集後記を書いている時期は、ちょうどブラジルワールドカップの開幕直前で、日本が1次リーグを突破して決勝トーナメントに進めるか、期待を乗せた連日の報道で盛り上がりおりました。本号が皆様のお手元に届くころは、ちょうどその結果が出たところだと思えます。個人的にはドキドキしすぎるために生中継の試合観戦は苦手で、勝った試合を後から観ることが多いのですが、日本がなんとか16強に残って、試合観戦の機会がまだある状況を願うばかりです。

●今回の特集は「動的計画法の新展開」です。動的計画法は60年以上前に確立され、ORの授業ではどの大学でも取り上げる古典的な手法ですが、今回の特集で

は、現在もお活用の場面を広げ続けている状況が紹介されました。リスク評価といった社会的ニーズの高い、王道的なものだけでなく、ゲームやスポーツ、折り紙など「柔らかな」ものにおいても有用な結果をもたらすことに、その奥の深さを感じられます。

●大きな問題の最適解を見つけるために、少し小さい問題をいくつか考え、それらの最適解を利用する、というシンプルな仕組みですが、その簡単さが動的計画法が発展を続ける理由のようにも思えます。

●複雑でないものはわかりやすく、受け入れられやすい、というよく知っている事実を改めて認識させられた気がしました。そして、日頃の自分自身の考えや作業を見直そうという気持ちになりました。(池辺淑子)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 池上敦子 (成蹊大学)
委員 池辺淑子 (東京理科大学), 石井儀光 ((独)建築研究所), 鶴飼孝盛 (中央大学), 小林隆史 (東京工業大学), 坂本英夫 ((株)東芝), 佐久間 大 (防衛大学), 笹谷俊徳 (東京ガス(株)), 猿渡康文 (筑波大学), 高野祐一 (専修大学), 武内陽子 (公益財団法人 鉄道総合技術研究所), 中原孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 原田耕平 (NTTデータ数理システム), 松井知己 (東京工業大学), 宮代隆平 (東京農工大学), 矢野夏子 ((株)構造計画研究所), 吉住貫幸 (日本アイ・ビー・エム(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成26年7月号 第59巻 第7号 通巻643号

代表者 大宮 英明

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 池上 敦子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。